

2006年12月12日
持続可能な原材料調達 連続セミナー

イントロダクション 資源の持続可能性と原材料調達 — 第6回までを振り返って

地球・人間環境フォーラム
満田 夏花(みつた・かんな)
kanna.mitsuta@nifty.com

1

第5回までを振り返って

- **第1回 “食”の原材料と持続可能性** cf)グローバルネット5月号、8月号
 - 食卓からみた生物多様性
 - 世界の漁業は今
 - 持続可能な漁業と認証制度の可能性
- **第2回 植物油脂(パーム油と大豆油を例に)**
 - 持続可能なパーム油と大豆油とは? cf)グローバルネット5月号、8月号
 - パーム・プランテーションの現場から
 - 「持続可能なパームオイルのための原則と基準」の採択を振り返って
 - SARAYA ボルネオ環境保全事業
 - エコ燃料の落とし穴～地域産バイオマスにこだわるわけ
- **第3回 鉱物資源** cf)グローバルネット9月号
 - 鉱物資源の生産における環境社会影響
 - 責任ある鉱業に向けた挑戦
 - 事例研究1:インドネシア、バツ・ヒジャウ鉱山
 - 事例研究2:ニューカレドニア、ニッケル鉱山開発
 - 事例研究3:フィリピン、リオツバ・ニッケル製錬事業

2

第5回までを振り返って

- **第4回 木材と木材製品**
 - グリーン購入法改定で進む日本の違法伐採対策～持続可能な森林経営を支える需要側の最近の動き
 - 紙の大手購入者として責任を果たすために～用紙調達規定をいち早く導入した富士ゼロックス
 - 増える中国の木材需要と中露国境の木材貿易
 - インドネシアで広がる木材の合法性・持続可能性証明の試み
- **第5回 責任ある融資** cf)グローバルネット11月号
 - 持続可能な原材料調達における金融の役割
 - 資源開発と責任ある融資 過去の事例に学ぶ
 - エクエーター原則採択から3年 みずほコーポレート銀行の経験
 - NGOが銀行を変えた～責任ある融資へ向けた市民社会の力

www.gef.or.jp/seisakuteigen/genzairyou_seminar2006.htm

3

なぜ「原材料調達」における配慮か？ ①海外に多くの資源を依存

4

日本における物質フロー

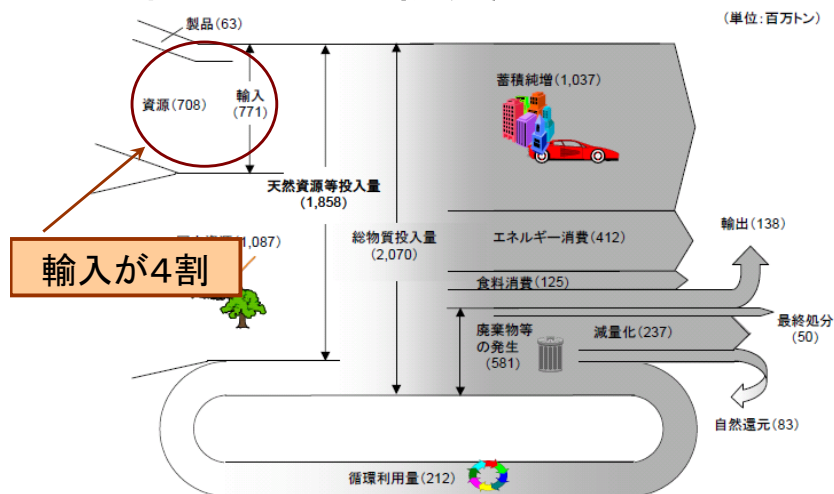


図 0-1 我が国における物質フローの模式図 (平成 14 年度)

5

日本における物質フロー

隠れたフロー:

国内: 10.9億トン(採取の0.97倍)、
海外: 28.3億トン(採取の3.9倍)

隠れたインパクト:

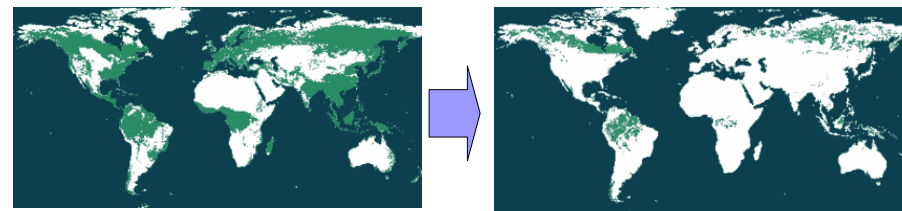
数値には表せない、生産地の生態系、地元社会に与える影響

6

なぜ「原材料調達」における配慮か？
②自然資源、生態系の危機的状況

7

減少し続ける森林



8000年前との比較

- 現在2割しか残っていない。
- 毎年1200万ヘクタール以上の天然林が減少している。これは日本の国土の1/3の面積。
- 会議は続く……されど

止まらない減少！

農地開発、違法伐採、乱伐採、火災、インフラ建設、etc...

8

失われる生物多様性

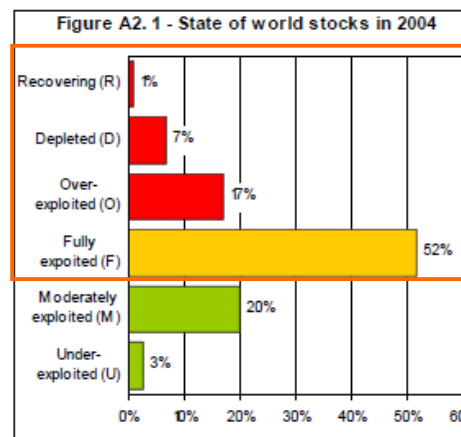
自然状態の絶滅の100~1000倍(7分に1種?)

原因: 生息域の消失、分断、汚染、また、乱獲
生息域の消失の例)

- 1950年からの40年間で森林や草地の14%が消失
- 過去20年間に沿岸のマングローブ林の約35%が消失
湿地、サンゴ礁、山岳生態系...

9

危機的状況にある漁業資源



すでに生産限界に達しているもの、過剰漁獲、枯渇しているものが、全体の77%

地球白書2004-5によれば、人類はこの50年の間、海洋性大型捕食魚類の少なくとも90%を採りつくしたとの記述も

FAO(2005), Review of the State of World Marine Fishery Resources

10

なぜ「原材料調達」における配慮か?
③現地社会に対する責任

11

紛争のダイヤモンド
タンタル鉱石
野生生物の絶滅
児童労働とチョコレート
プランテーションと先住民・熱帯林破壊
石油・ガス開発と汚染
多国籍企業と人権侵害

Boy soldiers await demobilization. Bo, Sierra Leone, 1998. UNICEF / HQ98-0578 / Giacomo Pirozzi

12

現地社会に対する大きな影響

例)

- 地元住民の強制移転
- 少数民族の慣習的土地利用権の侵害
- 生態系の破壊、水、大気の汚染による生活・生存への影響
- グローバル資本参入による社会構造の変化
- 工場における労働・人権問題

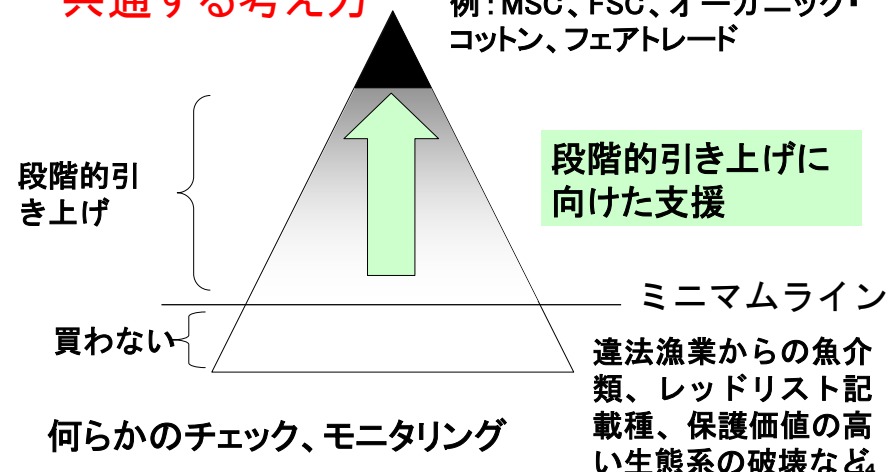
→資源の受益者・利用者としての「責任」

13

原材料調達を持続可能性

共通する考え方

トップランナーをなるべく買う：
例：MSC、FSC、オーガニック・
コットン、フェアトレード



調達方針の例

- B&Q(木材)
- マークス&スペンサー(魚、綿、木材)
- キャドバリー・シュウェプス(カカオ、ナッツ類など)
- センズベリー(魚介類、パーム油など)
- ユニリーバ(パーム油、トマト、魚介類など)
- ウォルマート(魚介類)
- スターバックス(コーヒー豆)
- リコー、キヤノングループ、富士ゼロックス、王子製紙、アスクル、三菱製紙、日本製紙(紙製品など)
- カタログハウス(木材など)

15

責任ある原材料調達に取り組む手法

個別企業

- 生産現場で起こりうる問題を知る：リスク評価
- 目標設定とコミットメント

調達方針の策定

- サプライヤー評価
- サプライヤー支援
- 情報公開
- パートナーシップ

16

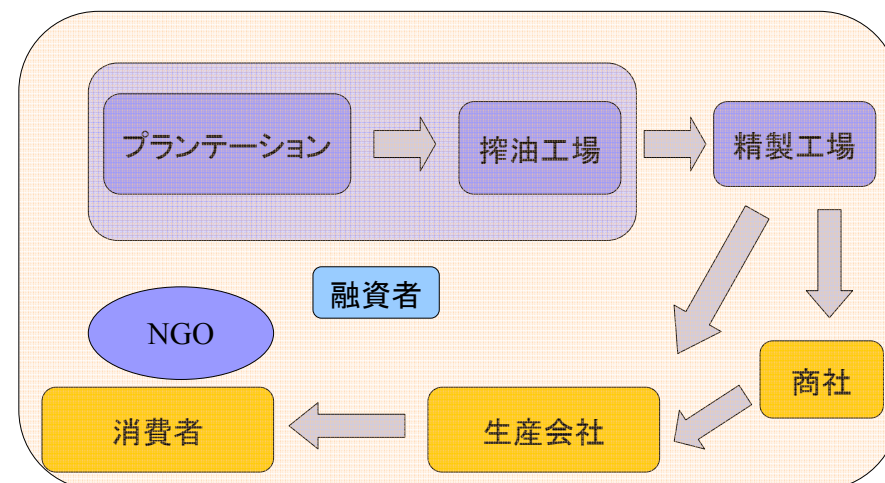
責任ある原材料調達に取り組む手法

グループとして

- バイヤーズ・グループの結成
 - サプライヤーへの要請
 - サプライヤーへの支援
 - グループとしてのコミットメント
- 円卓会議
 - 川上から川下まで(RSPO)
 - 地域のステークホルダー

17

パームオイルのステークホルダー



第1回 持続可能な原材料調達連続セミナー 足立直樹氏講演資料より

18

「社会やマーケットを変え、
公平で持続可能な国際社会を実現するために

ぜひ、原材料調達方針の検討・策定を」

そのためにも
グッド&ベター・プラクティスを共有しよう

19

ありがとうございました
kanna.mitsuta@nifty.com

20